

第3回 豊川水防災サミット 開催概要

○関東・東北豪雨災害の教訓を踏まえ、豊川において、豊橋市、豊川市、新城市、愛知県、気象庁、河川管理者（国）が一体となった「豊川水防災サミット」を設立し、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」を再構築するための取組方針を策定。

○サミットでは取組方針に基づき、「施設では守り切れない大洪水は必ず発生する」との考えに立ち、タイムラインの活用、水防訓練の実施など、洪水から流域住民の命を守る「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指す取組みの推進を共有。

【開催概要】

日時：平成29年5月26日（金） 15:00～16:00
会場：豊橋市役所 東館4階 政策会議室
出席者：豊橋市長、豊川市長、新城市長、陸上自衛隊豊川駐屯地司令
国土交通省豊橋河川事務所長 他関係行政機関担当者
主要議事：「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく豊川の減災に係る取組方針のフォローアップについて

第3回サミット開催状況



水防活動では、消防（水防）団の工法開始や安全確保のための待避時期の判断が重要。タイムラインへの追記を検討していきたい。

佐原光一 豊橋市長



市域を越えた広域避難を考慮したハザードマップを作成したい。豊川破堤から50年に向けて、浸水被害を風化させない伝承の取組を望む。

山脇実 豊川市長



関係機関と連携のもとタイムラインの検証と見直しをしっかりと行いたい。

穂積亮次 新城市長



防衛省陸上自衛隊
豊川駐屯地司令

取材：新聞3社

■東日新聞 H29.5.27 朝刊
豊川水防災サミットに新メンバー
陸自など加入し体制強化を図る
住民避難など支援する役割に期待

■東愛知新聞 H29.5.27 朝刊
陸自豊川駐屯地を構成員に
豊橋で「豊川水防災サミット」
取り組み方針の進ちよく確認

■読売新聞 H29.6.1 朝刊
洪水時行動計画を作成
矢作川 豊川流域
タイムライン 国と市町、
訓練で確認へ

駐屯地司令の権限で行う自主派遣の参考として、各自治体のタイムラインを共有したい。住民避難の支援について、自主派遣を行う要件である人命救助の範疇と解釈することで、豊川駐屯地として協力できるのではないかと考えている。